東部ニューギニアにおける遺骨収容実施状況（令和7年5月末現在）

地域		戦没者概数	政府派遣 収容遺骨数
東部ニューギニア	アイタペ周辺	127,600	867
	ウエワク周辺		10,714
	マダン周辺		1,154
	フィンシュハーフン周辺		1,757
	ラエ・サラモア周辺		934
	ブナ・ギルワ・ココダ周辺		1,792
計		127,600 ※1	18,936 ※2

（注）　政府派遣以外に、復員あるいは引揚げの際に戦友等により持ち帰られた遺骨32,480柱があり、これらは当時、東部ニューギニア地域という単位で整理されており、詳細な地域ごとの数字はない。
　なお、概見図上の収容遺骨概数は、政府派遣収容遺骨数18,936柱と併せて、51,420柱としている。

※1　戦没者概数 127,600人には、海没者（数は不明）を含んでいる。
　なお、ビスマーク・ソロモン諸島及び東部ニューギニアの海域での海没者数は併せて約 28,000人であるが、その内訳はない。

※2　政府派遣収容遺骨数 18,936柱には、現地住民等が収容し政府派遣団が受領した遺骨であって、収容地点が不明な 1,718柱が含まれているが、上記の地域別の欄には計上していない。